

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関東脳神経外科病院新病院整備計	階数	地上7F
建設地	熊谷市代字本代1120、字天神1061-3、字上面1-1 他65筆	構造	RC造
用途地域	用途地域指定なし	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年4月11日
敷地面積	20,327 m ²	作成者	清水建設株式会社 一級建築士事務所 岡崎 亜都夫
建築面積	2,028 m ²	確認日	2024年4月11日
延床面積	10,487 m ²	確認者	清水建設株式会社 一級建築士事務所 大石 茂



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 3.0		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 エネルギー消費量を特に意識し、地球温暖化の抑制に努めるよう配慮している。		
その他 特になし		
Q1 室内環境 通常の設計換気量より多くなるよう設計し、更に各室ごとに適切に換気が出る開口部を設けるなど空気質環境に配慮をしている。	Q2 サービス性能 階高にゆとりをもたせ、空間のゆとりに配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 一部Low-Eガラスを含むペアガラスにて断熱性能を高め、空調機器は各種制御機能をもった機器を選定することにより一次エネルギー消費量を抑える配慮をしている。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 建物全体の一次エネルギー消費量を抑えることにより、運動してライフサイクルCO₂排出率も下がるよう配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	関東脳神経外科病院新病院整備	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.2	+	3.3	=	7.5	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.2
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.2
一部Low-Eガラスを含むペアガラスにて断熱性能を高め、空調機器は各種制御機能をもった機器を選定することにより一次エネルギー消費量を抑えることにより、連動してライフサイクルCO2排出率も下がるよう配慮している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	4.0
風環境について調べ、流体シミュレーションを行うことにより周辺への熱的な影響を低減する対策を行っている。			

 : 入力欄